



ホームページURL : <https://fa.fureai-cloud.jp/yachiyo-eyachiyo/>

今年度のESDの重点目標（取組）

Ⅱ 相互性（関わりあっている） Ⅳ 公平性（一人一人大切に） Ⅴ 連携性（力を合わせて）

【令和7年度 ESD 実践報告】

1 ごみゼロ運動



本校では、5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで、5月に全校で「ごみゼロ運動」を設定している。特別支援学級と1年生は学校の敷地内で実施するが、2年生以上は、学年ごとに場所を設定し、校外へ出て地域のごみ拾いを行っている。これは、「自分たちの学校や住んでいるまちをきれいにする」ことで、奉仕の気持ちを育てるという目的のもと行われている。

2 ボランティア大作戦（5年生の実践より）

（1）ボランティアって？

1学期の全校行事での取り組みの後、「地域に対して何か貢献できることはないだろうか」という問いから「ボランティア」というワードが出てきた。2学期後半の「総合的な学習の時間」のテーマとして取り組むことにした。子どもたちは、まずボランティアとは何かということについて知り、そこから身近なところでできそうなことを考えた。

（2）校内チョボラをやってみよう！

子どもたちからは、落ち葉はき・本の整理・校内の破けたカーテンの繕い・各教室の流しの清掃・黒ずんでいる床の掃除などが出てきた。これらの中で、ちょこっとできそうなことに取り組んだ。

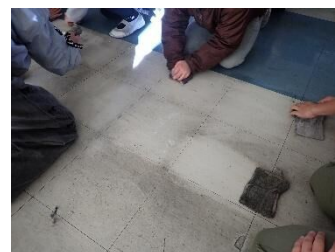
①本の整理



図書室に学級で本を借りに行き、全員が借り終えた後の時間を使って取り組んだ。「本の整理」といえば、棚の中で倒れている本を立てて整える活動をイメージしがちであるが、実際にやってみると、本来戻すべきところに戻っていないものが多く、番号順・五十音順に並べることにとても苦労していた。「とても大変！」「次は1時間やらせてください！」などの声があった。

②床掃除

廊下や教室の床は、掃除の時間での拭き掃除では落としきれない汚れが染みついている。汚れのひどいところを、大勢で一気に磨いた。磨いたところが見るみる白くなっていくのを見て、「学校全体が、こんな風にきれいになるといいな。」「きれいになると気持ちがいい。」などと口々に言っていた。



（3）地域に目を向けてみよう！

校内での活動で、「みんなのためになることをすることは、自分たちも気持ちがいい」ということに気がつくことができたので、さらに範囲を自分たちが住んでいる地域に目を向けてみることにした。地域には、公園のようにたくさんの人が使う公共の場があったり、様々な人が生活していたりする。誰にとっても「住みよいまち」であることがのぞまれる。高齢者、障害のある方、妊婦さんや小さい子を持つ親、そして自分たち……にとって地域社会がどうあったらよいか、自分たちには何ができるかなどについて考える機会になってくれればと願っている（地域に出たの活動〔地域の課題探し、高齢者との交流・・・〕は、3学期実施の予定）。これらの活動を通して、持続可能な社会の実現を担っていく子ども達の可能性を今後も広げられるように努めていきたい。